

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第31号

古牧だより通算125号

23年度 地区福祉大会開催

支え合いの地域づくりを目指して!!

福祉部会主催の「古牧地区福祉大会」は、平成23年6月9日(木)古牧公民館で開催されました。

当日は、市側から、市社協 島田和幸課長、市議会より、小林義和議員、小林秀子議員の出席をいただき、地区内の福祉関係者総勢140名が参加し、今年度福祉活動の基本方針等が示された後、2地区の事例発表とこれを受けて質疑応答が行われました。

小林逸郎部会長は、方針の中で“誰もがみんな、自分らしく生きるために、支え合いの地域づくりを目指そう”をスローガンに掲げ、住民自治協議会が2年目となる本大会の意義を強調して、参加者に福祉への意識高揚を呼びかけました。

また、福祉関係部長からは、具体的な年間行動計画についてそれぞれ発表がありました。

活動事例では、上高田区から福祉推進委員会が中心となって、民生児童委員会、老人クラブ等の組織と協働して、ツクを惜しまぬ行動を前面に押し出して参加者増加に結び付けたこと、また平林区からは、サロン事業、子育て支援活動、ふれあい訪問、健康介護講演会等を通じて、独自の活動を続ける中で区民の信頼を得ていることなど、2地区の実践発表は、いずれも参加者に強い感銘を与え、参考になることが多々ありました。

発表後の質疑応答でも、多岐にわたって活発に行われ、充実した内容となりました。

締めくくりの講演会は、市地域包括支援セ



ンター(ニチイケア高田:川相香子様他)講師4名から「地域包括支援センターを活用しよう」と題して、同センターの役割、福祉支援の具体的な活動内容が日常の事例を挙げて多数紹介され、大きな反響を呼びました。

「隣近所でどんなささいなことでも気づくことがあったら、まずは一報を!!」の説明には心強く感じました。

当地区においても高齢化社会の波が急速に進んでいる現状からみて、今後より一層の地区内での支え合い活動が重要であること、改めて「福祉力とは、気づくこと」の大切さを思い知らされました。

席上、参加者全員にアンケートをお願いいたしました。

多くの皆様から貴重なご意見をいただいておりますので、次年度の福祉大会、および今後の活動を進める上で参考にさせていただきます。

また、大会当日には、参加者の皆様から大震災の義援金50,928円のご協力をいただきました。お礼申し上げます。

さっそく、県北部地震で被災された栄村に全額お届けいたしました。

長野市民新聞社の取材記事(6月23日付)を合わせてご覧ください。



防犯防火ポスター30周年 記念フェスティバル盛大開催!

防火防犯ポスター30周年記念フェスティバルが、7月3日長野運輸支局において、約1,200名の来場者を迎え、盛大に開催されました。大人気の消防自動車の試乗、パトカーの試乗や、各消防車両・



警察車両の見学など大好評でした。また消防団音楽隊吹奏楽班・緑ヶ丘小学校金管バンドによる演奏が、色彩をそえました。

開会の記念式典では、西和田少年少女消防クラブに、長野県消防協会より活動用ベストの贈呈が行われました。



お待たせしました! 護身術講習会

6/4

古牧地区防犯女性部を中心に45名の参加で長野中央警察署より五十嵐生活安全課防犯指導係長と、長水防協事務局2名の講師を迎えて大奮闘の講習会となりました。

日頃から常に身を護る意識を持って、いざという時には逃げるということが一番においての術を教えていただきました。

防犯女性部では年2回の講習会を計画しています。次回も多くの参加者を募ります。



防犯功労団体、防犯功労者の表彰

去る5月27日(長野県) 6月3日(長水)の防犯協会連合会の総会において、古牧地区の以下の団体と功労者が表彰されました。

長野県防犯協会連合会	長水防犯協会連合会
<p>〈功労団体〉長野市消防団長野第6分団 代表 青木 敬一</p> <p>〈功 労 者〉傳田 豊子(上高田区)</p>	<p>〈功労団体〉南長池区防犯部 代表 岡宮 忠和 中村区防犯部 代表 桐生 重俊</p> <p>〈功 労 者〉柴 芳夫(川端区) 松倉 富雄(五分一区) 浜村由美子(上高田区) 富山 節子(川端区)</p>

＝公民館部会役員研修会＝ 心の指針として 地域をリード

古牧公民館において6月11日（土）公民館部会役員研修会が開催されました。当日は62名参加し、生涯学習の時代と言われる中で、地域公民館の進むべき方向・活動のあり方などについて考え合いました。

当日の講演は信州新町の玉泉寺住職笠原憲正氏により「人と人との縁 怨ともなれば円ともなり

厭ともなれば援ともなる」の演題で、人間関係が希薄化しているなかで、無縁社会と言う話から始まり、御自身の人生の歩みと重ね合わせながら、私達に分かり易くユーモアを交えて慈悲深い言葉で話を進められました。地域公民館については、共生のこころをつくるために①しっかりと自分づくり（自分自身が楽に、楽しく生きる力をつける）②楽しい仲間作り（本音とたてまえがずれないこと）③明るい仲間作り（自分よし・相手よし・世間よしの考え方）で心豊かに生きていこうと話されました。

また、公民館実践発表では西和田からは組織の一部変更や、青少年育成委員とイベントスタッフの新設、行事ではフラワーアレンジメント講習会、ジャガイモ掘り大会が新規行事に、五分一からは館報ごぶいち年3回の発行や、秋祭り子どもみこしにはみこしが2基作製され、午前には2コースで小学生、午後は中学生で実施、上高田からは公民館活動の課題と今後について、広報活動の工夫やサークルの拡充についての話があり、今年度のもちつき大会には南向なべ（上高田の特産物を材料にする）の報告がありました。

最後にアトラクションでは、宮坂古牧公民館長によるサクソホーンの生演奏でアンコール曲も含め5曲が参加者を魅了しました。



第18回

学社連携住民集会 学校と地域で人権を考える 集いを開催

23年度の学社連携住民集会が、6月29日に緑ヶ丘小学校でひらかれました。

古牧地区住民自治協議会主催になって2回目の集会も、緑ヶ丘小学校の全面的な協力により全学年の参観授業に始まり、全体会では、アトラクションとして小学校4、5、6年生の金管バンド演奏で盛り上がりました。

講演会では150名の一般参加者と5、6年生も同席して「ネット社会と私たち」と題した長野市人権同和政策課指導主事篠井俊郎先生のお話をお聞きしました。



平成23年6月14日、住民自治協議会福祉部会で中野市高齢者賃貸住宅「ハートネット信州中野」の施設見学を行いました。施設は長野電鉄中野駅に隣接するとともに便利な所にあり、施設内運用についてもこれからの高齢者の日々ライフスタイルを先どりしたのものとなっていると感じました。

住居部分は一人住まい（月額10万円弱）と高齢者夫婦二人住まい（月額18万円程度）の2種類があり、炊事施設も完備されており、二人住まいでは風呂も付いています。食事は予約制により調理して貰う事も出来ます。



専門のスタッフが10名程常駐しており、介護やディケア・サービスも受けることができるほか、要介護者にならないように自らの意志で健康管理を行うことが出来るプールや運動器具をそろえたジムもありました。

施設では大勢のお年寄りの皆さんがそれぞれの活動をしているところを見学させていただき、益々高齢化が進みゆく社会にあって、これからの高齢者の生活環境としてこのような施設の存在は大切だと感じた研修でした。

民生児童委員研修へ

～ふれあいと対話が築く 明るい社会～

民生児童委員45名は、6月30～7月1日小田原市厚生保護施設報徳厚生寮を訪問しました。表記のスローガンはこの施設のものです。

今年創立88年、小田原拘置所と少年院の中間の場所にあり、定員は33名で、現在27名が入所しています。

犯罪や非行者の更生を目ざして、宿泊保護をし社会復帰の援助をしている施設です。

誰も頼る人がいない、劣悪な家族関係、くり返される犯罪、人間として生きていく力を！自立に向けて、

- (1) 就職に向けた指導や援助
- (2) 貯蓄や金銭管理の指導
- (3) 福祉や医療機関への橋渡し

を行っています。

玄関に生けられた数本のひまわりは入寮者たちに前向きに希望を持ってエールを送っているようでした。二度とない人生を明るく送って欲しいです。



また、同市にある二宮尊徳（金次郎）の記念館と生家も見学。酒匂川の氾濫（天災）に悩まされながら、よく学び、よく働き、すべてに尽くした全生涯を熱のこもったガイドの説明に時が止まった感じがしました。

富士山は雲に隠れたまま見えませんでした。



福祉健康部ウォーキング講習会 楽しく皆で心地よい汗をかきました

6月27日、梅雨の晴れ間でむし暑い日でしたが、社会体育館で午後1時30分から福祉健康部主催の「ウォーキング講習会」が行われました。



頑張るぞー



皆さん、楽しく歩こうね

30名を超える参加者皆で心地よい汗をかきました。準備運動に続き講師から正しい歩き方について指導いただき、体育館前の広場で歩き方の練習を行った後、三重公園周辺をウォーキングしました。

●●●●● 第1回 ●●●●● 世代交流グランドゴルフ大会

6月18日 第1回世代交流グランドゴルフ大会が、小中学生13人を含む130人が参加し、古牧小学校で行われました。初めてグランドゴルフに挑戦する小中学生に、アドバイスしながらプレーで世代交流を楽しみました。総合優勝は中村納子さん（川端）、団体優勝は西尾張部チームでした。



古牧老人クラブ連合会 ウォーキング講習会

6月12日 古牧老人クラブ連合会の「健康ウォーキング講習会」が開催され、各地区から50余名が参加しました。



◇◇◇◇◇ 小学校（古牧・緑ヶ丘）運動会 ◇◇◇◇◇

6月4日 古牧小学校・緑ヶ丘小学校の運動会が行われました。古牧小学校は「最後まで本気の力を出し切ろう」緑ヶ丘小学校は、開校記念校庭運動会として「祝 20周年 みんなの心を一つにしよう あきらめないで最後まで」をスローガンに見事な演技をみせてくれました。



組体操 信濃の山なみ（古牧）



祝20周年 緑っこソーラン節（緑ヶ丘）



JR 第13回 西和田宿舎区

区内の空きスペースを活用した菜園

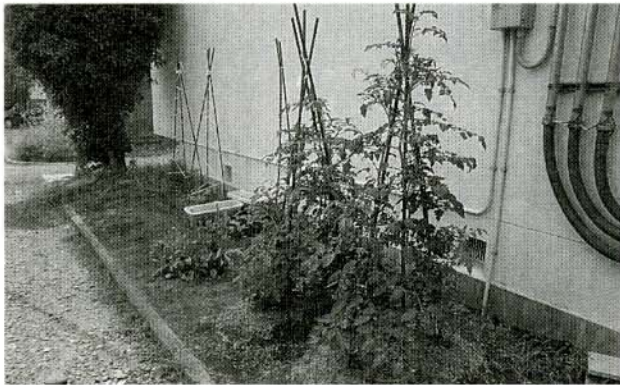
JR西和田宿舎区 区長 半田 俊介

JR西和田宿舎区は6棟の建物とその居住者93世帯（平成23年7月1日現在）で構成されている大変小さな区です。

隣には県警職員住宅、県職員住宅があり、目の前に広がる和田公園は子供から大人まで、格好の交流の場となっています。

当区は、世帯主の100%が現役の勤め人という特異な区です。区としての活動を行う上で、多くの困難が発生しますが、区としての活動及び、役割は確実に実行すると同時に、区として存在し続ける以上それらを受け継いでいかなければならないと認識しています。

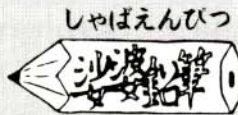
区内の空きスペースを活用して小学校PTAが



家庭で使用されているとも言われている。電力の三割は業が節電に努めているなか、我々家庭においても、電力使用について、心構えを変えていかなければならない夏となってしまった。

特にこれから夏場は、午後一時〜四時ころが一番電力消費の多い時間帯である。すだれ等で窓から入る日差しを和らげるとか、冷房の設定温度を二度上げる、日中は電気を消す等により節電は充分可能である。

(上野 孝夫)



東日本大震災に伴う、福島原発等の事故により、電力事情の悪化がすすみ、節電が呼びかけられている。

節電は地球温暖化を考慮しても、重要な課題である。電力の三割は

「節電」

中心となり、毎年野菜や花を植えています。日頃の水くれを始めとした管理を子供たちが中心に担い、収穫出来る頃になると収穫祭を行い、皆で味わいます。

我々のように集合住宅に居住していると、土に触れ、畑を耕し、一から食料を育て、収穫するといった体験を行うのはなかなか難しい事だと思います。

このように空きスペースを活用した菜園を通じて、自分達で苦労して育て、収穫することで、日頃何気なく口にしている食に対する意識が変わっていくと思います。

今後、生きた学習となるこの取り組みを大切にしていくだけでなく、裾野を拡大していけたらと思います。

住民自治協議会の動き

1 事務局職員に三井美智代さん

6月1日から、三井美智代さん（五分一）が事務局職員として勤務しております。事務局体制は早川さんと2人となり、毎日事務室は開いています。



2 部会長・部長連絡会 開催

6月21日「部会長・部長連絡会」が開催され、次の事柄が話し合われ決定されました。

- 1 部会の効率的事業運営のため、問題点を9月までに集約する。
- 2 平成24年度「地域でやる気事業」について各部で9月までに検討する。
- 3 会計事務について再確認。

イベント紹介

- 7月23日(出) 社会を明るくする運動講演会
- 7月24日(日) 中学生ボーリング大会
- 7月27日(水) 親善ゴルフ大会
- 8月4日(休) 健康食講習会
- 8月21日(日) 公民館対抗球技大会

古牧地区の世帯数と人口

23年7月1日現在

10,497 世帯

26,038 人

(男 12,856人 女 13,182人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷